

修繕費、人件費などが必要となつてくるが、人件費以外は年間数十万円程度で収まると予測している。

人件費については、当初は、ガイドランス施設の管理人が必要となつてくるので、数百万円程度が必要になると考えているが、ゆくゆくは、地域住民やボランティアの方に管理運営を任せられる体制作りをしていきたい。

問 地域活性化へのビジョンおよび費用対効果について

答 行政は、史跡の持つ多様な価値の研鑽や把握に努め、地域住民がその価値を理解し、積極的に関与できるように働きかけや仕組みづくりを行うことが必要であると考えている。

そのため、ガイドランス施設を建築し、当時の人々の営みやそれらを五感で体感できる場、遺跡に関する情報を提供し、地域の歴史や文化の学習機会のおよび自然環境の中での憩いの場とすることで、体験学習、他の文化団体との交流、イベントやワークショップの開催等、地域の方がいきいきと文化活動ができる場として史跡を積極的に活用していただき、地域活性化につながればと考えている。

また、町外の方を誘致するため、グリーンツーリズム事業との連携や、「森の三角ぼうし」および「日吉夢産地」と連携を取り、「鬼」に関連したイベント開催等、文化財と町内の産業および商工業が協働して大勢の観光客を呼び込むことにより、鬼北町の文化的魅力の向上や地域経済の発展にも繋がっていくのではないかと考えている。

費用対効果については、この整備事業には多額の費用を要するが、それに対する効果を数値で表すことは難しいと言わざるを得ない。多くの方が来られ、町内の施設で買い物をし、宿泊していたとき、経済効果が上がることが最善であるが、経済効果だけでなく、文化財やその歴史に触れることで、豊かな心や地域の伝統を守る意識の醸成を図っていくことが重要であると考えている。

【鬼北総合公園について】

問 遊具を充実させたり、市越池にボートを浮かべたり、山を桜山にしたりし、町民が集える場所にする考えはないか。

答 現在ローラースライダーを含む7種類の遊具を設置している。これらの遊具のうち2種類の遊具は、平成29年度に新設したものであり、残りの5種類のうち4種類の遊具は平成29年度に補修したものであるため、現在のところ、新たな遊具を設置する計画はない。しかし、遊具の配置や設置場所等を検討し、可能な限り町民の皆さんの要望に応えるよう努めていきたいと考えている。

市越池については、農業用の池であるため、水利権者の同意が必要であると考えられる。また、同意が得られたとしても、安全管理のため、管理人を置く必要があるため、現時点ではボートを浮かべる等の活用方法を考えていない。

桜の植樹については、公園周辺を含め新たに植栽できる場所や老木化したものがあれば、順次、植樹していきたい

と考えている。

◆中山 定則 議員

【日吉小・中学校の義務教育学校への移行について】

問 平成30年第3回鬼北町議会臨時会で義務教育学校設置の関係条例の改正が否決された後の対応について

①再度議案の提出を予定しているのか。

答 否決された理由としては、「義務教育学校がベストの選択かどうか」「時期の問題」「町民への周知不足」等が挙げられていた。教育委員会としては、否決されたことは非常に残念であるが、小中一貫教育をさらに一歩進めた義務教育学校を目指すことは、鬼北町学校適正規模・適正配置検討委員会でも移行を推進する必要があるとの答申をいただいたしており、愛媛県内初の義務教育学校のモデルケースとして、引き続き取り組んでいきたい。

②鬼北町学校適正規模・適正配置検討委員会へ議案審議結果を報告されたのか。

答 臨時会翌日の新聞で審議結果が掲載されていたので、委員の方々も認識されたと考え、委員会を開催したり、文書による報告はしていない。

問 義務教育学校のリーフレットは、どのような目的、用途でいつ作成され、配布されたのか。

答 日吉地区の保護者の皆さんに、義務教育学校のことをより理解していただくよう、今年の3月下旬に作成した。そして、4月のPTA総会で配布し、説明を行ったところである。今後は、

日吉地区の住民の方に周知するため、活用していきたい。

【第二次鬼北町長期総合計画・総合戦略策定について】

問 進捗状況について

①各課における前期基本計画の効果や問題点などの洗い出し作業は始まっているのか。

答 第二次鬼北町長期総合計画の前期基本計画の計画年度は令和2年度までであり、来年度を見直し年度としているので、現在のところ、問題点の洗い出し作業は行っていない。

②総合戦略の基本目標1から4を定め、それぞれ目標値を設置しているが、達成可能か。

施策の項目によっては、すでに目標値を達成しているものもあるが、中には、目標値に達していないものもある。その要因については、関係課において具体的な事業内容とKPIを検証し、その後、検証結果を策略策定委員会に報告し、委員の皆さんにご意見をいただいた。それと併せて、それぞれの「施策の成果」については、毎年9月議会においても報告しているが、本年度においても、現在、平成31年4月現在の状況を各課で検証しているところである。

問 本業務の委託業者とどのような委託内容で契約を締結したのか。

答 現在のところ契約はしていない。今後、国の方向性や動向を見ながら、順次事務作業を進めていきたいと考えている。